

## ○ 高橋大蔵大臣小學校朝禮訓話放送（昭和十年五月六日午前八時於自邸）

皆さんお早ふ。みんな元氣で毎日勉強して居りますか。

今日は少しばかり皆さんにお話することにしたのです。

皆さんはきっと教育勅語の御聖旨を能く辨まへて、忠良の臣民となるべき心懸けを一日も怠たるようなことはないでしょふね。

日本の國を強くして行くのも、國を富まして行くのも、又立派な學問や發明をして、世界の爲に盡して行くのも、みんな國民が一生懸命に勵み勵らく心掛の如何に因るのであります。そしてそれには國民がみんな銘々の立場々々に相應じて、出来る丈け心と力とを合はせて働くことが何よりも大切なことなのであります。私は今大蔵大臣として國家の財政のこと。即ちお國の臺所の切り盛りの役目に、御奉公致して居るのですが、お國をして彌

々富み榮えしめて行くのにも、先き先きは矢張り皆さんを力とし  
せなればならぬのですが、今の所は皆さんの父さん、母さん、兄さん、  
姉さんなどの方々、言ひ換えれば國民全体の強い強い精神と努力とを便り  
として居るのであります。

そこで皆さん様な小さい方々としては、如何したら先き先きお國の爲めに役立つ立派な人間になれるか、こゝが一番大切な所であります。

於ては先生方の教を良く守り、先生を敬まひ、日々の勉強を怠らぬ様にしなければなりませんが、今日は特に皆さんに聽いて頂きたいのは一寸ずつかしい言葉ではありまするが、「我れを生むものは父母なり、我れを成すものは朋友なり」といふ昔時の言葉であります。それは人間は自分を生み、自分を育てゝ呉れた父母の鴻大なる御恩に感謝しなければなりませんが、さて立派な人間となるのに最も大切なことは常に良い立派な友達を持つことであると云ふことです。

皆さんも、どうか常に良き友達を選んで交はつてゐたゞきたいのですが、それには先づ第一に皆さん銘々自身が、立派な良い友達となることに心懸けて居なければいけないのであります。人間の一生にとつて一番大切な時代は恰度皆さんの様に小學校に學んで居る年頃の時なのです。將來立派な人間

となり、又立派な國民となるのも、ならぬのも、今の皆さんのはじめの學校時代に其の心懸けのあると、ないとに由るのであります。

生の教へを、良く聽き、良く守り、お互ひに良き友達となり合つて親切に  
交はり、勉強に精を出し又常々運動をも怠らず、心も身體も丈夫に育ち將來  
國家のお役に立つ立派な人となられる様に私は神様に禱りて已まないので  
あります。

私共老人は皆さんに對して、こんな望みと恃みとを抱みて先き先きを樂しんで居るのであります。

私のお話はこれで終ります。さよなら。